

# 協会だより

(一社)秋田市建設業協会

## 目 次

### 1. 定例会議

○理事会

○災害対策本部会議・災害対策委員会

### 2. 行事報告

○道路除排雪対策に関する意見交換会

# 1. 定例会議

## ○理事会

6月26日(月)

顧問1名、理事13名、監事2名が出席し理事会を開催しました。

長谷川会長の議長就任後、議事録署名人の指名にあたって、定款に定める議事録署名人として足利監事、渡辺監事を指名しました。

次第により、以下のとおり会議が行われました。

### 《報告事項》

①豪雨災害に伴う応急活動（7/20、22、23）

報告資料

事務局は、この度の豪雨災害により、秋田市から7月19日(水)及び21日(金)に、「災害時における応急活動に関する協定書」第3条第1項ただし書きに基づく応急活動の協力要請があり、協定書第2条第2項により出動したことを報告しました。

議長は、質問・意見を求めたが発言者はなく、理事会は報告を了承しました。

### 《議事》

議案1 豪雨災害対応について

資料1

①災害時における応急対策活動に関する協定書

—①

#### 【協定書に基づく協力要請】

・7/19、21

秋田市環境部から災害廃棄物の移動に関する要請

※今後、建設部からの要請の見込みあり

②災害対策本部の設置

—②

③災害対策本部会議、災害対策委員会の開催

—③

日時：令和5年 月 日（ ）

場所：協会2階会議室

事務局は、協定書の概要を説明し、この度の出動要請のほかにも協力要請が出される見込みであることを説明しました。

次に、災害対策本部については、本来会長が宣言して立ち上げるところであるが、急を要したため既に応急活動に臨んでおり設置済みと理解していただきたいことをお願いし、今後の対応を協議するため、災害対策本部会議及び災害対策委員会の開催について検討をお願いしました。

議長は、災害対策本部を設置済とすることを理事に理解を求めたところ、同意が得られたことから会議の日程について検討をお願いしました。

協議の結果、早急に開催し、今回の災害に対して共通認識をもって臨んだ方がよいとして、7月26日(水)午後1時30分に、協会2階会議室において開催することとしました。

## 議案2 連絡網の設置

LINEグループ = 災害対応、緊急時の連絡等  
・三役 ・理事会 ・災害対策本部 ・災害対策委員会

事務局は、今回の豪雨災害を教訓にSNSによる緊急連絡網の設置について会長から提案があったことを伝え検討をお願いしました。

議長は、SNSによる連絡網は、緊急時、平常時にかかわらず非常に有効であるとして意見を求めたところ、スピーディーな動きが取れるといった意見が多く出され、協議の結果、理事会はSNSによる連絡網の設置に同意しました。

## 議案3 秋田市総合防災訓練について

資料2

事務局は、今年度の秋田市総合防災訓練の概要について説明し、資料については、豪雨災害が起こる前に秋田市から提供されたものであるため、今後変更の可能性もあることを付け加えました。

理事会は、説明について了承しました。

## 議案4 社会貢献活動事業（公共福祉施設等寄贈事業）について

資料3

事務局は、資料により大森山動物園から要望のあった品目（6点）及び総額について説明しました。

また、寄贈については、豪雨災害を受けて見直しを図ることも考えられるが、予定どおり進めてよろしいか検討をお願いしました。

議長は、質問・意見を求めたところ、寄贈については、前回理事会で承認しており、災害対応とは分けて考えた方がよいとの意見があり、要望された全品目を予定どおり寄贈することについて承認しました。

なお、寄贈にあたっては、豪雨災害に鑑みて贈呈式等のセレモニーについて遠慮する旨を申し入れることとしました。

## 14 その他

### (1) 協会関係行事の日程等

- ①道路除排雪対策に関する意見交換会（7/27）
- ②協会役員ゴルフコンペ・表彰式、懇親会（7/28 ⇒ 延期）
- ③協会視察研修旅行（9/12、13）北広島市（Fビレッジ）、札幌市
- ④協会・土木部会・建築部会合同親睦ゴルフコンペ・懇親会

〔 9/28 ゴルフ＝秋田椿台CC 6組 9:03スタート  
懇親会＝津ねや 18:00 〕

事務局は、今後の協会関係行事日程を説明し、了承されました。

(2) 次回理事会 令和5年9月 日(月) 三役会10:00・理事会11:00

事務局は、次回理事会について、定例では9月25日(月)になることを説明し了承されました。

※ 次回の理事会 令和5年9月25日(月) 三役会10:00・理事会11:00

(3) 豪雨災害見舞いについて

会長から、この度の豪雨災害で被災した会員へのお見舞いについて提案があり、協議の結果、お見舞金を渡すことを決定しました。

議長は、すべての議事を終了し午前11時50分に閉会しました。

## ○災害対策本部会議・災害対策委員会

7月26日(水)

災害対策本部4名、災害対策委員会9名が出席し、合同会議が開催されました。

長谷川会長(本部長)が議長に就任後、議事録署名人を選任し、以下のとおり会議が行われました。

### 《報告事項》

・豪雨災害に伴う応急活動(7/20、22、23)

報告資料

事務局は、この度の豪雨災害により、秋田市から7月19日(水)及び21日(金)に、「災害時における応急活動に関する協定書」第3条第1項ただし書きに基づく応急活動の協力要請があり、協定書第2条第2項により出動したことを報告しました。

次に、議長は、状況把握のため、(一社)秋田県産業廃棄物協会(以下、「産廃協会」という)にも所属する会員に同協会の動きについて説明をお願いしました。

同会員からは、7か所ある災害ごみ仮置き場のうち、現在ごみを堆積しているのが旧空港跡地と広面近隣公園の2か所で、他はごみの移動が完了しつつあることが報告されました。

また、広面近隣公園からも順次旧空港跡地に運んでいるところであるが、量が膨大で地盤が軟弱であるため作業がなかなか進まないことや、旧空港跡地の整理にも追われていることなどが報告されました。

議長は、質問・意見を求めたが発言者がなかったことから、秋田市から要請があった場合は、会員の通常業務への影響等を勘案したうえで可能な限り協力していくことを確認し、委員はこれを了承しました。

## 《議事》

### 議案1 災害時における応急対策活動に関する協定書について 資料1

事務局は、協定書の概要を説明し、この度の出動要請のほかにも協力要請が出される見込みであることを説明しました。

次に、災害対策本部については、本来会長が宣言して立ち上げるところであるが、急を要したため既に応急活動に臨んでおり、設置済みと理解していただきたいことをお願いし、今後の対応を協議するため本日の会議に至ったことを説明しました。

議長は、災害対策本部を設置済みとすることを委員に理解を求め、同意が得られたことから今後の対応について協力を仰ぎました。

### 議案2 豪雨災害に伴う今後の対応について 資料2

事務局は、災害ごみを効率的に処理するため、仮置き場から直接秋田市総合環境センターに持ち込むことについて秋田市環境部に提案したことを報告し、このことに伴って、今週末に同市からの要請が見込まれることから、出動可能な重機等について調査したことを説明しました。

議長は、質問・意見を求めたところ、出席者から、現在、秋田市総合環境センターの焼却炉がメンテナンスのため全機稼働しておらず、直接ごみを持ち込んでも処理しきれないことや、旧空港跡地に持ち込まれても整理が追い付かない状況であることが報告されました。

また、環境省から、濡れた畳の処理を優先的に実施するよう指導があり、秋田市と協議をしながら早急に対策を講じなければならないことが説明され、追って市から当協会にも協力要請のあることが示唆されました。

加えて、全体的な動きが見えないことから、秋田市、産廃協会、建設業協会の代表者による会議を開いて、情報を共有して動く必要があるのではないかとの意見が出されました。

議長は、現状や出された意見を考慮して今後の対応を図っていくことを述べ、会員の協力をお願いしました。

### 議案3 令和5年度 秋田市総合防災訓練について 資料3

事務局は、今年度の秋田市総合防災訓練の概要について説明し、資料については、豪雨災害が起こる前に秋田市から提供されたものであるため、今後変更の可能性もあることを補足しました。

委員は、説明について了承しました。

議案4 災害発生時の出動可能重機の種類及び台数、資材等の種類及び数量並びに出動人員等の調査について

資料4

事務局は、災害に備えて、昨年に引き続き本調査を実施することについて検討をお願いしました。

協議の結果、今回の豪雨災害の応急活動が落ち着いてから実施することとしました。

議長は全ての議事を終了し、午後2時50分に閉会しました。

## 2. 行事報告

### ○道路除排雪対策に関する意見交換会

7月27日(木)

秋田市から有坂建設部次長、金子ゆき対策担当課長、古木副参事の3名が、当協会から伊藤土木部会長、加賀屋工務委員長ほか5名が出席し、今冬の道路除排雪対策について会議が行われました。

はじめに、秋田市から昨冬の道路除排雪に関する意見・要望等への回答について説明があり、続いて今期に向けて意見交換が行われました。

会議では、初動を早めることや間口除雪等に関して意見が交わされ、秋田市においても、より効率的かつ効果的な道路除排雪に向けて、様々な方法を検討中であることが説明され、今後とも、日常的に情報交換をしながら相互に協力し合うことを確認しました。